

# ちっちゃいものくらぶ

## ヤドクガエル(さん)

梅雨になり、なんとなくカエルさんが恋しくなるのは私だけでしょうか？

南高に入学した時、校章がカエルさんにしか見えなかった。学校を作る時に出土した「たま」と「矢」だと何度言われても、一度カエルさんと思い込んでしまったから、どうしてもカエルさんにしか見えない。

南高の同窓会のメルマガも「かえる便り」っていうんだよ！一度同窓会のホームページも見てみてね。

さて、カエルさんにはいろんな種類がいるよね。梅雨に似合う感じのは、アマガエルさんかな。しかし、今回は最近ペットとしてブームになってるヤドクガエルさんについて調べてみたよ。



かつて先住民がフキヤガエルの数種から毒をとって、吹き矢に塗り、矢毒として狩りに使ったことが名前の由来。毒があるから飼育は敬遠されてたけど、種によっては飼育しやすく、毒を持たないように育てた子が出回って、派手な色も相まってペットとして人気が出てるそうだ。

でもいくらペットでも、カエルさんには人間の体温は高すぎるから、素手で触っちゃだめなんだってよ。

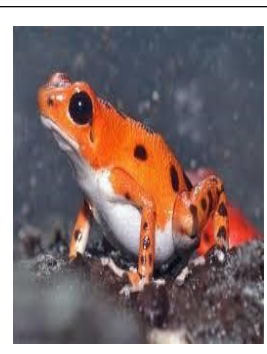
**大きさ** 最大の子で6cm

**毒** 神経毒 20 $\mu$ gで大人の人間を死なせちゃうくらい、強い毒。

毒は同じ場所に住んでるアリやダニなどから摂取して貯蓄したり体内で変成されるので、コオロギやショウジョウバエなどをご飯に長期間育てられた子や、人が育ててる中で生まれた赤ちゃんは毒を持たないとされてるんだって。

**ご飯** 昆虫類、節足動物

**繁殖** 水たまり・沼・川などに産卵する子、樹の洞や植物の葉のわずかな水場に産卵する子などがある。狭い水環境ではオタマジャクシの食べるご飯にも困っちゃうんだけど、オタマちゃんがご飯を食べずにカエルまで成長する子、メスが産む無精卵を食べて育つ子、親が卵やオタマちゃんをおんぶして水場まで移動する子など、ちびすけを成長させるためにいろんな工夫をしてるんだってさ。



**体色** 鮮やかな赤、コバルトブルーの地に黒い点、黒地に黄色のだんだら模様、緑の地に黒のイカシたラインなど、すごくきれい。お目めも黒目勝ちでパッチリとしてて愛らしい。☆これらの色や模様は、敵を遠ざけるための警告色らしいです。いわゆる護身術だね。「毒があるから来ないで〜」っていうこと。